

性の多様性を尊重する施策について問う

LGBTQ という性的マイノリティを現す言葉があるが、「性自認と性的指向」はすべての人に関わることから、性の多様なあり方を示す SOGI という言葉が広く用いられるようになり、東京オリンピックの開催でこれまで以上にジェンダー平等や多様性と調和への関心が高まっている。

令和元年 12 月議会において、私は性的マイノリティの方々への理解促進と支援策についての一般質問を行い、そこで様々な質問や提案をしたなかで、理解促進の取組みやパートナーシップ制度の導入について取り上げた。

現在、神奈川県内の多くの自治体でパートナーシップ制度が導入されており、性の多様性に寄り添う施策が全国的に広く普及している。その一方で性的マイノリティのかたは様々な差別や不利益な処遇に直面することがまだまだ多いという現実がある。

その人がその人らしく生きるための不利益解消や幸福感の向上に向けた課題解決は、社会全体の人権問題として大きく捉えるべきであると考えている。

多様性を尊重し、誰しものが住みやすい開成町を描いていくためにも、改めて本町における性の多様性に対する現在の取組みと、パートナーシップ制度導入への見解を問う。